

監視用デジタルレコーダー「DS-G シリーズ (DS-G360/G260/G350/G350R/G250/G150)」に接続するときは

本機と DS-G シリーズの接続のしかたについて説明します。
その他の項目および監視用デジタルレコーダー「DS-JH シリーズ」との接続につきましては、取扱説明書をご覧ください。

1. 事前準備

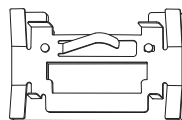
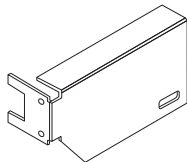
DS-G シリーズと接続する際は、事前に次のサービス部品（別売）をご準備ください。

SATAケーブルホルダー

ダミープラグ

ワッシャー(M4)

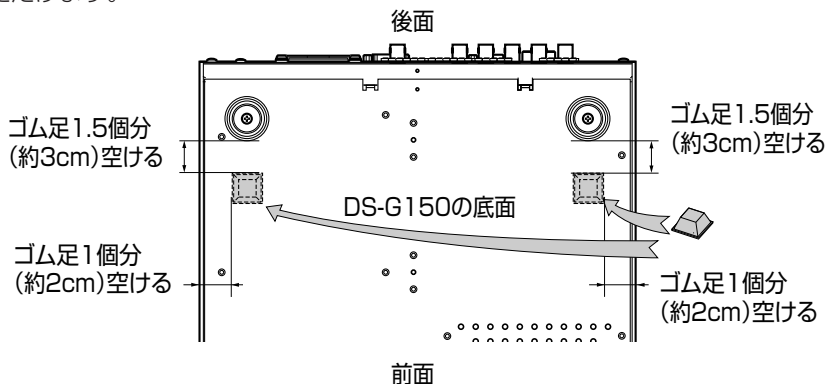
SATA GNDプレート



2. 本機に DS-G150 を載せてお使いになるとき

お使いの DS-G150 の底面に付属のゴム足を図のように貼り付けてください。
ゴム足を貼り付ける面の汚れはよくふき取ってから貼り付けてください。

※ DS-G150 以外の DS-G シリーズは、付属のゴム足を貼り付けなくても載せてお使いいただけます。



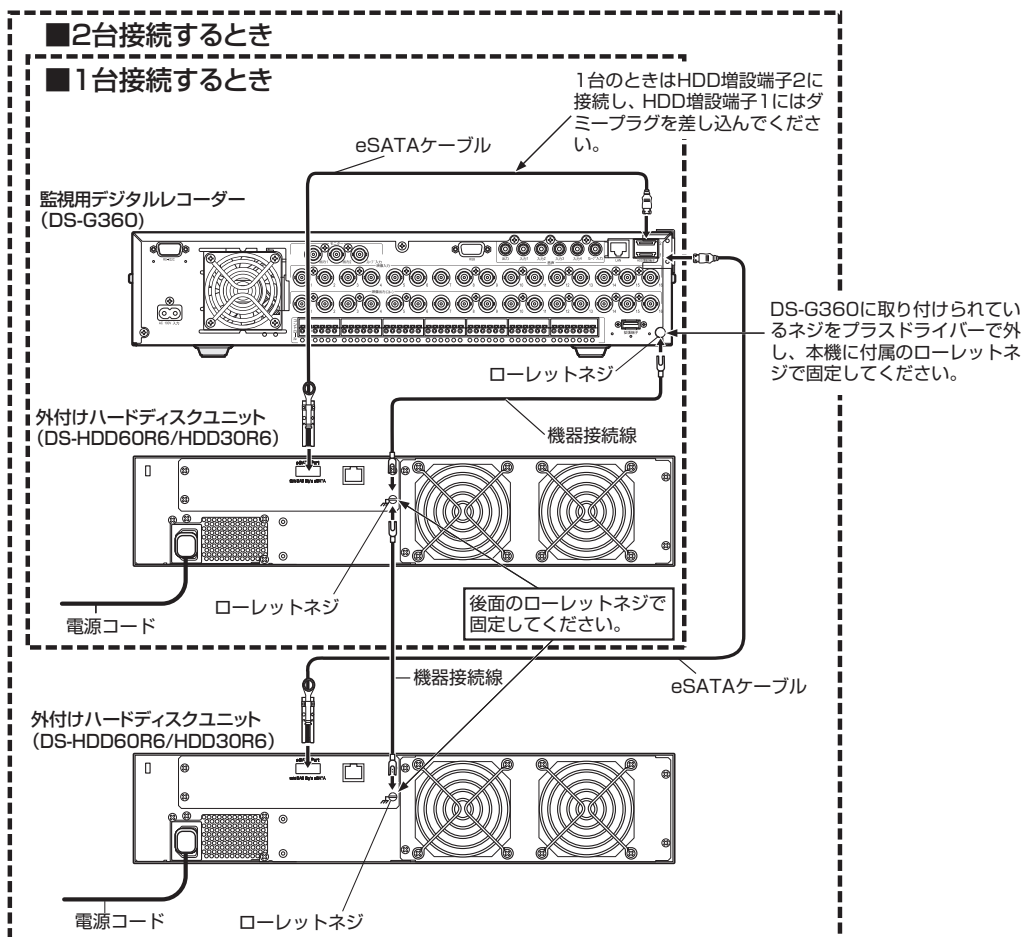
3. 監視用デジタルレコーダー「DS-Gシリーズ」と接続する

ご注意

- ・本機が正常に動作しない可能性がありますので、事前にご準備いただいたサービス部品は必ず取り付けてください。
- ・監視用デジタルレコーダーが稼働中のときは、記録を停止して電源を OFF にしてください。
- ・本機は日立監視用デジタルレコーダー専用です。それ以外の機器では使用しないでください。

■ 接続例 (DS-G360 と接続するとき)

- ・機器接続線を図のように本機と監視用デジタルレコーダーのアース端子に接続します。
- ・eSATAケーブルの接続については、次項の「4. eSATAケーブルの接続」をご覧ください。
- ・最大2台まで接続することができます。



4. eSATA ケーブルの接続

付属の eSATA ケーブルと事前に準備したサービス部品 (別売) を以下の手順で取り付けてください。

1. eSATA ケーブルの miniSAS コネクタを本機の miniSAS 端子 (eSATA Port) に接続する。

しっかり奥まで差し込みます。

DS-HDD60R6/
HDD30R6

miniSAS コネクタ

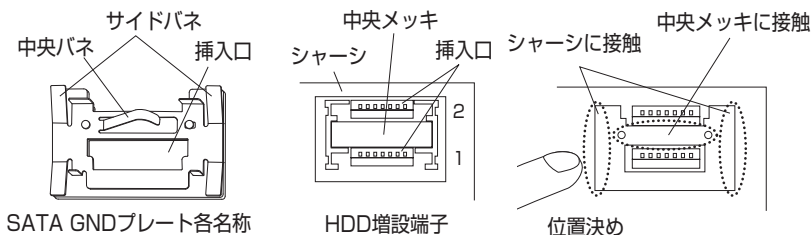
miniSAS コネクタの抜きかた



- ① miniSAS コネクタが動かないように押さえながら、リングを矢印方向に引きます。
- ② リングを引きながら、miniSAS コネクタを抜きます。

2. DS-G シリーズ後面の HDD 増設端子に取り付ける SATA GND プレートの位置を決める。

SATA GND プレートの中央バネと HDD 増設端子の中央メッキ部分が接触し、かつサイドバネとシャーシが接触するよう取り付け位置を決めます。バネがシャーシに接触しない場合は、接触するようバネの曲げ具合を調整してください。



SATA GNDプレート各名称

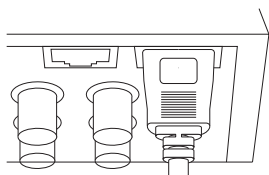
HDD増設端子

位置決め

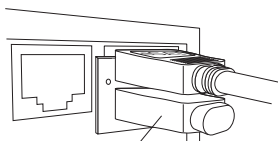
3. 位置決めした SATA GND プレートの挿入口から HDD 増設端子 1 (下側) に、ダミープラグを差し込み、HDD 増設端子 2 (上側) に DS-HDD の eSATA ケーブルを接続する。

本機を 1 台接続する場合、eSATA ケーブルは HDD 増設端子 2 (上側) に接続してください。

本機を 2 台接続する場合、ダミープラグは不要です。eSATA ケーブル 2 本を HDD 増設端子 1 と 2 に接続してください。



eSATAケーブル接続状態

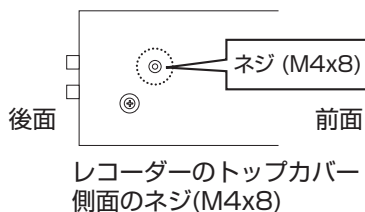


DS-HDDが1台のとき：ダミープラグ
DS-HDDが2台のとき：eSATAケーブル

SATA GND プレート取り付け完成図

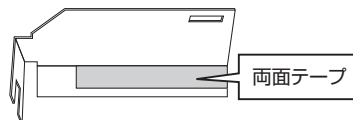
4. DS-G シリーズのトップカバー側面 (HDD 増設端子側) のネジを外す。

ネジ (M4x8) をプラスドライバーで外します。



5. SATA ケーブルホルダーの両面テープのはく離紙をはがす。

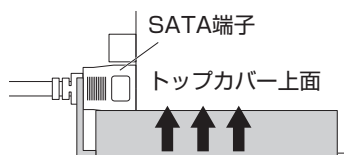
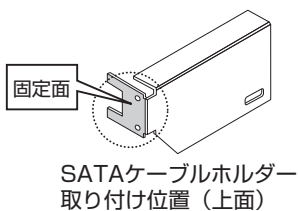
SATA ケーブルホルダー内側の両面テープのはく離紙をはがします。



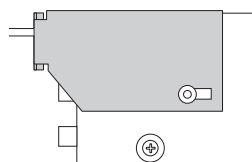
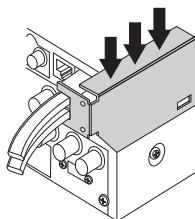
SATAケーブルホルダーの両面テープ

6. SATA ケーブルホルダーを貼り付ける。

① SATA ケーブルホルダーをトップカバー側面に寄せながら、固定面と SATA 端子の間に隙間が生じないように、SATA ケーブルホルダーの位置決めを行います。

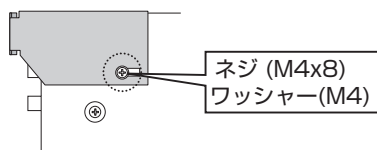


② SATA ケーブルホルダーの上部を押して貼り付けます。



7. SATA ケーブルホルダーを固定する。

4 項で外したネジ (M4x8) にサービス部品 (別売) のワッシャー (M4) を取り付け、元の位置にプラスドライバーで取り付けます。



5. 有効記録容量について

有効記録容量 (監視用デジタルレコーダーで初期化した容量) は RAID の設定によって変わります。

対象機種: DS-G350/G350R/G250/G150 対象機種: DS-G360/G260/G230

	RAID-5	RAID-6		RAID-5	RAID-6
DS-HDD60R6	約 4.6TB	約 3.7TB	DS-HDD60R6	約 4.5TB	約 3.6TB
DS-HDD30R6	約 2.3TB	約 1.8TB	DS-HDD30R6	約 2.2TB	約 1.8TB

ご注意

- ・ 搭載 HDD の合計記録容量が有効記録容量ではありません。
- ・ 出荷時は RAID-5 に設定されていますので RAID-6 で使用するとき、お買い上げの販売店などにご相談ください。